

令和元年度末アンケートの結果報告

2/27 ～ 3/4 に保護者アンケートを実施し、家族数52軒のうち37軒のご協力をいただきました。

おおむね良い評価をいただいているようですが、中には成果を感じられない方もいらっしゃるようです。まだまだ力不足を感じる場所ですので職員一同、共通の意識をもって子どもたちや保護者のみなさまに喜ばれるこども園に変化していけたらと思います。

【評価基準】

- A 十分達成されている（おおむね80%以上）
- B ほぼ達成されている（60%～80%くらい）
- C 取り組まれているが成果が十分でない（40%～60%くらい）
- D 取組が不十分である（40%以下）

今年度の保育や運営に対するアンケート

	評価項目	保護者の評価			
		A	B	C	D
1	子どもは園に行くのを楽しみにしている	26	10		
2	子どもたちは安心して自分の思いを出し、元気に遊んでいる	30	5	2	
3	友達と一緒に遊んだり友達の遊びに刺激を受けたりして、共に過ごすことの楽しさを味わっている	34	3		
4	遊びや集団生活に必要な決まりを知り、守ろうとする態度が育ってきている	30	7		
5	様々な物事に興味関心を示し、知的好奇心や思考力、感動する心などが育ってきている	31	5	1	
6	自ら遊びを作り出す楽しさを味わい、園生活を楽しんでいる	31	6		
7	子どもは遊びの楽しさや達成感を味わい、自信をもって行動できるようになってきた	28	9		
8	集団の中で、一人一人の幼児が自己を発揮し、互いに力を生かし合いながら、共に学び合う様子が見られた	25	9	3	
9	クラスの中で乳幼児一人一人が大切にされている	25	10	3	
10	人に対する信頼感や思いやりの気持ち、自己抑制力などが育ってきている	26	8	3	
11	幼児は家族や近所の人、保育士などに、よくあいさつをしている	15	16	5	
12	幼児はしっかり体を動かし、体力が向上したり、たくましが育ったりしてきている	33	3	1	
13	生命を尊重する心や自然を大切にすることが育つような取り組みがされていた	25	11	1	
14	こども園は一人一人の幼児の育ちを保護者に伝えている	25	10	1	1
15	こども園は保護者が様々な幼児とかかわる機会をつくり、幼児の発達などに気付く機会をつくっている	23	12		2
16	園は悩みや相談に親身になって対応してくれる	27	9	1	
17	保護者同士よく挨拶し、親しく交流できている	17	17	2	1
18	保護者会活動は活発に行われ、保護者は関心が高く協力的である	17	14	4	1
19	保育方針や指導の重点は、幼児や家庭・地域の実態にあったものだと思う	30	6	1	
20	こども園は保育目標や指導の重点について分かりやすく伝えている	27	10		

*上記項目への意見（特にD評価に対する理由、改善点）、園に対する意見・要望、お気づきのこと、園の努力点やよいところなど、自由にご記入ください。

- ・どの先生もいつも元気で笑顔で挨拶もしてくれ子どもがニコニコなので安心して毎日登園できます。
- ・今日はこんなことがあったよと決まって楽しい話ばかりしてくれるこどもたち。友達や先生との関係性が良いからだと思っています。子どもではありますが、人間同士なのでいろんな感情があると思いますが今まで同様たくさんの愛情を注いでもらえたら安心です。・楽しく登園してたくさんの成長も見れて感謝の気持ちでいっぱいです。・一日の様子を細かく教えてくれるので子どもとのコミュニケーションに役立っている。・子育て講座が良かった・保育参観の時同じクラスのママたちとグループを組んでくれたので今では気軽に話したりできるようになってよかった。子どもも先生たち大好きなようで案じて預けられます。・マチコミをもっと利用して感染症・忘れ物等の情報を知ることができないでしょうか
- ・園のことをよく話してくれるようになりました。・子どもの様子等詳しく話してくれるので安心して預けられます。

○行事予定をもっと早く知りたい。

A：できるだけ大きな行事については重要事項説明書にて、保護者さんの関わるものについてはふた月前の園日よりでもお知らせをしているつもりなのですが小さい行事等どうしても遅くなってしまいます。また、天候に左右される行事もあり年間としては決められないものもあり申し訳ありません。来年度意識してできる限り早めにお知らせしていこうと思います。

○駐車場にラインがあると停めやすい。屋根があればもっと助かる。

A：駐車場のラインについてはお迎えラッシュ時等さらに必要になってきたと考えております。屋根については全部つけることは無理です所以对応できかねますがラインについては協議していきます。

○働く親にとって園は大切な存在だが頻繁にけがをして先生からすみませんのフレーズが出るとまたかと思ってしまう。命にかかわるものではないとはいえ防げるケガもあったのではと思う。安心して子どもを預けたいです。

A：お子様がケガをしたことで保護者の方々に本当に残念なお気持ちや不快なお気持ちにさせてしまい申し訳ありません。ご指摘の通り防げるケガもあったかもしれません。その都度担当者同士集まって話し合い対策をとっていますがまだまだ保育者側の意識不足だと思いますので今後も今以上に連携を取りながらお子様の様子をしっかりとみていきたいと思ひます。

- ・発表会や最後のもらうアルバムなどクオリティが高く楽しみで大切にしたいです。給食のおやつおいしかったといつも言っています。お便りに載っているレシピはよく参考にしています。・自分でよく考え、行動できる子になってきました。嫌がることなく登園してくれたのは先生方のおかげです。・子育てに協力してもらえ感謝しています。・保護者同士のあいさつが嬉しいです。・連絡帳を毎日書いてもらえるのはうれしい。・子どもの体調に合わせてお昼寝を選べるのはよいことだと思います。

○園児数が増えたのでお誕生会が毎月になるとうれしいです。

A：園児数が増え行事の見直しが必要だと園のほうも思っております。毎月実施は難しいのですが内容を一新しながら楽しめる企画を考えていきたいと思ひます。

○先生が増え伝達がうまくいっていないのは不安になることがあった。例えば園の駐車場で先生と目が合っているのに入口に行くときだれもでてきてくれないときや布団袋がどこにあるかわからなくなっていたり園内のコミュニケーションも再度確認していただけたらと思った。また、ご飯についても先生たちがふりかけ等かけていることがあるとこどもにきいたので子供に合わせるべきではないかと思う。

A：保護者の方に不安や不快な気持ちをさせてしまい申し訳ありません。人数が増えたとはいえ言われるとおりにコミュニケーションをしっかりとすることで随分いろいろな面が違ってくると思ひます。忙しいなかでも情報伝達など円滑にいくよう努力していきたいと思ひます。またご飯についてもそのほかのことに対しても自分たちのたすまいをしっかりと見直し子どもに恥ずかしくない行動をとれるよう意識していきたいと思ひます。申し訳ありませんでした。

- ・保護者に伝えることを手に書いて知らせてくれる先生がいます。一生懸命さが伝わってきて子どもが大切にされていると感じる。・ホームページのブログをいつも楽しみにしています。・様々なことに興味を持つようになり、積極性や行動力が目に見えてupして来た。保育参観ではただただいつもの姿が見たい。

○お昼寝について自己判断を促すという指針は理解しているが、状況によって声掛けをしてもらえないだろうか。

A：一人ひとり状態が違いますので個別でアドバイスをしていきたいと思ひます。

○少し遅く登園した際泣いている子が朝の会からだされて、不信感がすごくわいた。怒られて泣くのは仕方ないがそのまま放置されているように見える子のことを見て何でと思うし、そこからのケアはしないのでしょうか。

A：確かにその場面だけ見たら不快な場面だと思いますし、不信に思われても仕方ないと思います。ただ、そのことをそのままにしておくことはありませんのでご安心ください。こどもといえど一人ひとり性格や感情の現れ方も違います。少し一人になって静かな状況で自分の気持ちをやっと整えられるお子さんもいます。(保育者は少し離れたところで見守りを続けています。) 言葉で上手に表現するのは大人の私たちでも難しいことです。子どもはなおさらです。この時間は私たち保育者の「待つ」という大切な時間になります。

○親や子どもによって態度が変わる先生 子どもには伝えてあるのですがと口頭で私に言ってくるが伝わるわけがないのに何のために連絡帳があるかわかりません。

- ・保育者の指導が行き届かず申し訳ありません。保育者の言葉づかいや行動で不信感が募っていることを申し訳なく思っています。保育者側の考えだけでなくこどもと保護者さんと一緒に物事を理解していく、通じ合っていくことの重要性を再度確認しているところです。少しずつ改善しつつ時間をかけて見直ししていきたいと思います。子どもに伝えるということも年齢に応じて必要なことになってきます。子どもがじぶんのこととして意識して必要な物事にあたっていく力をつけるというのも生きる力の一つと考えておりますが、年齢に応じて保護者の方々への配慮を忘れないようにしていきたいと思います。来年度はマチコミも上手に利用しながら進めていけたらと思います。よろしく願いいたします。

お忙しい中でもアンケートのご協力ありがとうございました。たくさんのお言葉をいただいて園長をはじめ職員一同感謝するばかりです。

いろいろなご意見をありがとうございました。このことを生かしながら令和2年度も保護者のみなさまと一緒に健やかなお子さまの成長を見守っていけたらと考えております。

令和2年3月24日

直純寺こども園 園長 戸高葉子

職員一同